

Shinsei IR Day

第2回Shinsei IR Dayを平成30年2月に開催しました。新生銀行グループの事業戦略と組織戦略に加え、新生銀行グループのデジタル戦略として顧客体験価値の革新をテーマとし、各担当役員がご説明しました。多くの株主・投資家さまにご覧いただけるよう、プレゼン



テーション動画、説明要旨、質疑応答要旨を新生銀行ホームページ（「企業・IR」）に掲載しています。

インパクト投資

当行と子会社の新生企業投資は、経済的なリターンと社会的なリターンの両立を目指すインパクト投資を実施する「子育て支援ファンド」を、平成29年1月に設立いたしました。国内金融機関による先進的な事例として、国内外の行政・機関投資家・事業会社・メディアの各方



面よりご注目をいただいています。これまで、スマート保育園構想を掲げるユニファ株式会社を始め、4社への投資を行っています。

株主還元について

当行では、株主還元の改善は重要な経営課題の一つと認識し、総還元性向の維持・向上に努めています。その一環として、当年度中は、資本の状況や収益力を踏まえ、1株価値の向上を図るため、合計約100億円の自己株式を取得しました。なお、平成29年度の配当については、1株当たり10円の期末配当とさせていただきます。

■ 会社概要

(平成30年3月31日現在)

設立	昭和27年12月1日
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	8303
連結総資産額	9,456,660百万円
資本金	512,204百万円
単元株式数	100株 (注)
発行済株式数	275,034,689株 (自己株式含む) (注)
従業員数 (連結)	5,307人

(注) 平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。上記は併合後の株式数を表示しております。

■ 株主メモ

定時株主総会	6月
配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社  
同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(お問い合わせ先) ☎0120-782-031 (土・日・祝祭日を除く 9:00~17:00)

ホームページのご案内

IR情報をホームページでも開示しています。是非ご覧ください。

<http://www.shinseibank.com/corporate/>

新生銀行 投資家 検索

新生銀行 TEL 03-6880-7000 (大代表) TEL 03-6880-8303 (グループIR・広報部)



株主の皆さまへ

平成29年度 平成29年4月1日 ▶ 平成30年3月31日

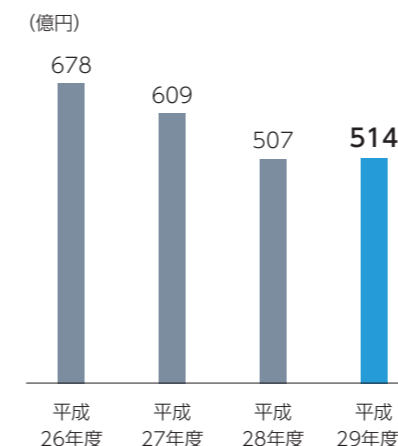


TOP MESSAGE

私どもは、新生銀行グループの収益力、環境変化への対応力、資本政策と公的資金という3つの経営課題にしっかりと取り組むことが、グループの持続的な企業価値の向上に資すると考えています。平成29年度の業績は、競争環境が一段と厳しさを増すなか、第三次中期経営計画で成長分野と位置づけている業務を中心に堅調に推移いたしました。平成30年度は、大きな変革期にあることを踏まえ、グループの融合を一段と進め、安定的な収益の計上による企業価値の向上にグループ一丸となって取り組んでまいります。

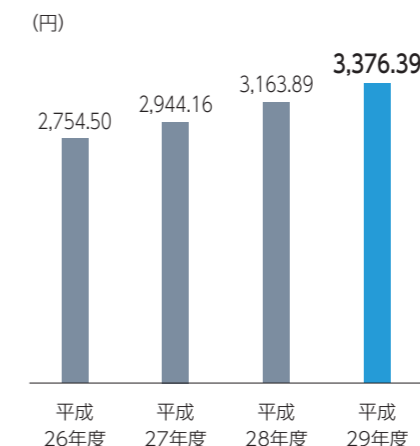
平成30年5月  
代表取締役社長 工藤 英之

親会社株主に帰属する当期純利益



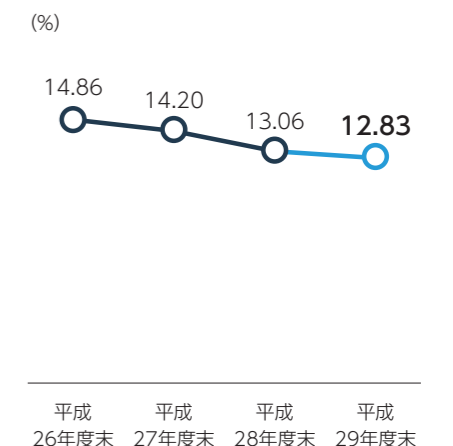
成長分野の堅調な推移により、前年同期比6億円増加となりました。

一株当たり純資産額\*



着実な利益の積み上げを背景に、前年同期比6.7%の増加となりました。

連結自己資本比率 (バーゼルⅢ、国内基準)



引き続き十分な水準を確保しております。

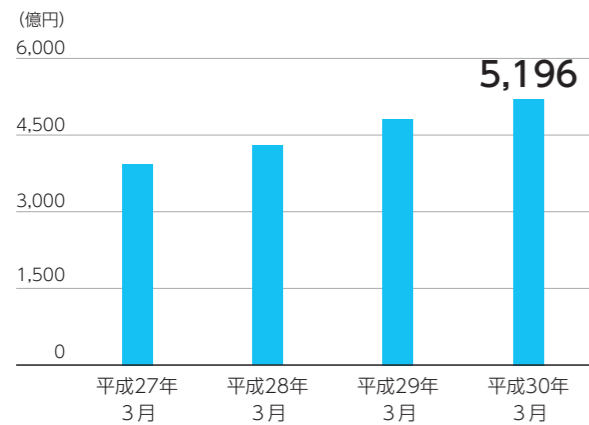
\*平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。平成26年度の期首に株式併合が行われたと仮定し算出しております。

# 新生銀行グループの成長戦略

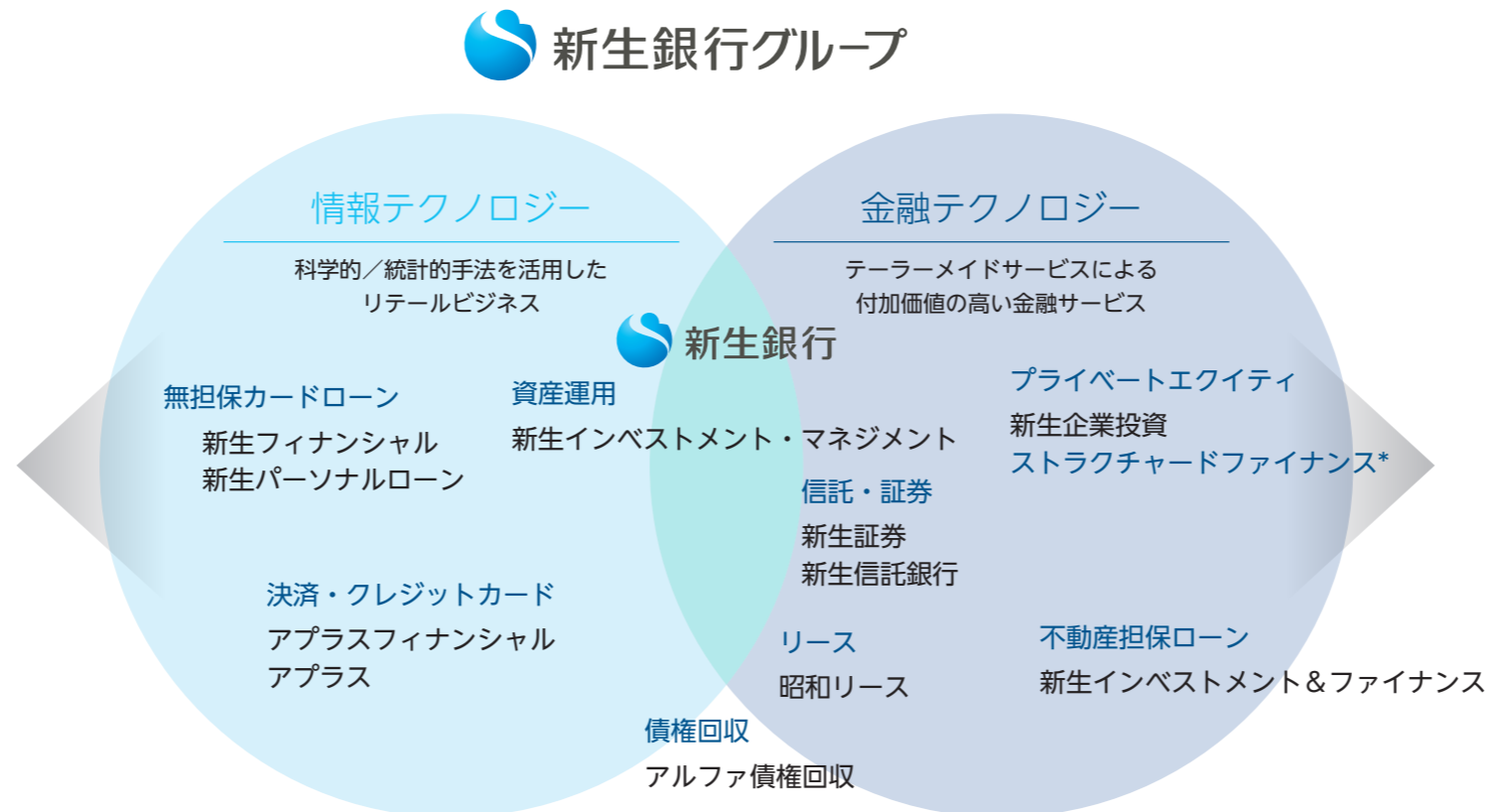
## 個人のお客さま向け業務

預金、資産運用商品、住宅ローンなどを行うリテールバンキング業務、無担保ローン業務、クレジットカード、割賦信用販売、決済業務など、個人のお客さま向け金融商品販売・サービスを行っています。無担保ローン業務は、多重債務防止という貸金業法の本質に則った規律ある業務運営を継続し、平成30年3月末のローン残高は前年同期比8%増加の5,196億円となりました。

### 無担保ローン残高



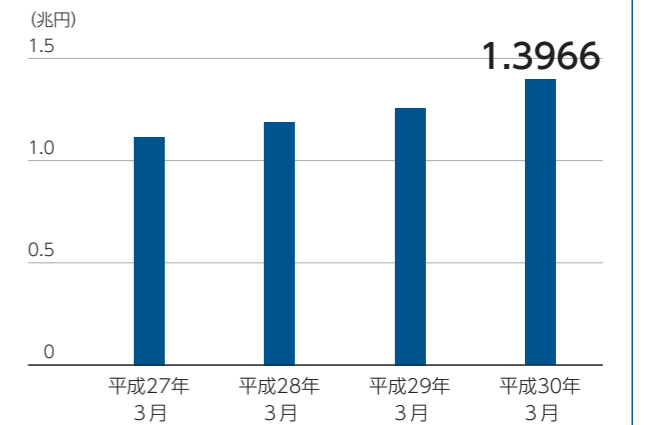
## 情報・金融テクノロジーを活用した付加価値の高い金融サービスを提供



## 法人のお客さま向け業務

事業法人、公共法人、金融法人のお客さまにファイナンスやソリューションを提供する業務、ストラクチャードファイナンス業務、プライベートエクイティ業務やリース業務などを行っています。ストラクチャードファイナンス\*業務について、不動産ファイナンスでは市況動向を慎重に考慮した運営を継続し、国内プロジェクトファイナンスでは地域の再生可能エネルギー案件を中心に取り組むなど、平成30年3月末の営業性資産残高は前年同期比11%増加の1兆3,966億円となりました。

### ストラクチャードファイナンス\*残高



### THEO+ [テオプラス] 新生銀行 ～ロボアドバイザーによる投資一任運用サービス～

株式会社お金のデザインが開発したロボアドバイザーによる投資一任運用サービス「THEO」を、当行の「新生総合口座パワーフレックス」のお客さま向けにカスタマイズしたもので、平成29年11月から取り扱いを開始いたしました。お客さまは年齢や現在の年収、金融資産額など5つの質問に答えるだけで、ロボアドバイザーが世界の約6,000種類のETF（上場投資信託）から最適な組み合わせを提案し、運用します。当行では、今後もお金のデザインとのさまざまな連携の可能性を検討してまいります。



新生銀行グループの成長分野は、無担保カードローンビジネスと、ストラクチャードファイナンス\*ビジネス分野です。

私たちは、業態の垣根を越え、これから金融ビジネスで起きる動きを先取りできる金融グループ、革新的な金融イノベーターを目指しています。

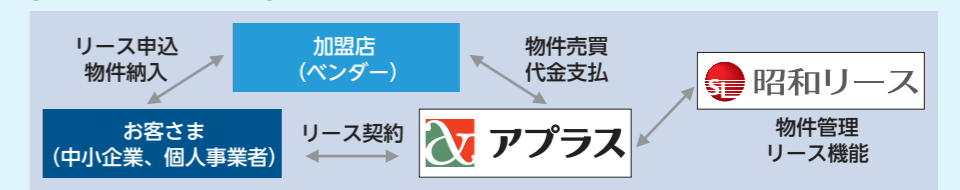


(株)新生銀行 代表取締役社長 工藤 英之

### バンダーリース ～アプラスと昭和リースの強みを活かした事業～

アプラスと、昭和リースは連携して、個品割賦事業を展開するアプラスが信用判断機能を担い、昭和リースがリース機能や物件管理機能を提供するかたちで、アプラスの加盟店のお客さまである個人事業者向けのバンダーリースを平成28年10月に開始しました。これは、新生銀行グループ第三次中期経営計画の戦略取組分野として中小、小規模事業者向けソリューションを掲げており、その一環として事業化を図ったものです。現在は当初目標である月間10億円の取り扱いをクリアし、着実に実績を伸ばしています。両社はこの機能融合で培ったノウハウを拡大させ、平成29年11月には個人のお客さま向けオートリース事業も開始しています。

【バンダーリーススキーム図】



\*ストラクチャードファイナンス ストラクチャードファイナンスとは、特別なストラクチャー（仕組み）を要するファイナンスのことを指すが、一般に特定のプロジェクト・資産のキャッシュフロー・価値に着目したプロジェクトファイナンス、ノンリコースファイナンスのかたちをとることが多い。当行では、不動産ファイナンス、プロジェクトファイナンス、M&Aファイナンス、再生ファイナンスなどを行っている。